

①ふなおか共生の里づくり協議会 \*経営学部3年 岡本 拓海さんによるレポート

八頭町にある隼ラボにおいて、ふなおか共生の里づくり協議会が取り組んでいる八頭町船岡地区の里山再生プロジェクトに関してお話を頂きました。

過去に、船岡地区の農業従事者の高齢化や農業の跡継ぎ不足により、船岡地区の耕作放棄地が大きな問題となりました。この問題を解消するためにふなおか共生の里づくり協議会が作られることになったそうです。ふなおか共生の里づくり協議会は、鳥取県内の複数の企業・団体から構成されており、このうち、農事組合法人八頭船岡農場(以下、船岡農場)は耕作放棄地を利用した飼料米を生産しています。また、同じく構成メンバーである有限会社ひよこカンパニー(以下、ひよこカンパニー)は飼料米を養鶏に利用し、船岡農場が生産している野菜はひよこカンパニーが経営する大江ノ郷自然牧場内のレストランで利用客に食材として提供されています。この取り組みによって、地域内の資源を地域内の企業が相互に利用する「地域内循環」が発生していると言えます。

私が所属している佐藤ゼミでは、文献や論文を通して、地域の諸問題に関する知識を深めています。様々な文献を読み、日本の農山村では、耕作放棄地が深刻な影響を与えていると知りました。そのため、ふなおか共生の里づくり協議会の方のお話を頂くまでは、船岡地区でも耕作放棄地の問題は深刻になっていると考えていました。しかしながら、実際では、ふなおか共生の里づくり協議会の活動によって、現在では船岡地区の耕作放棄地の状況は以前よりも良くなったということでした。このことから、文献や論文を読むだけではなく、実際にフィールド調査を行い、自分の目で諸問題の現状を確認することが重要であることを学びました。実際に地域を観察することによって文献や論文を読むだけでは分からなかった新しい発見も出来ると思うので、これを契機により多くの場所に赴き、その地域が抱える諸問題を明らかにしていきたいと考えています。

最後に、お忙しい中、お話をして頂いたふなおか共生の里づくり協議会の皆様にお礼を申し上げます。



お話をうかがった隼ラボの前で